



東庄の森だより

No.51

休園日/年中無休 開園時間/9:00~17:00

日本の固有種1種1属の「杉」



今や杉は嫌われ者のイメージですが、杉の花粉を除けば、なかなかの優れたものの木です。

スギは環境の適応性が広い丈夫な樹種。日本で最も多く植林された木で、北海道の南部以南のほぼ日本全土にスギ林が見られます。

縄文時代後期から弥生時代(4000年~2000年前)はスギの時代といわれるほど急激に分布を広げ、現代でも建築材をはじめ、桶や樽、船など古くから幅広く利用されてきました。

樹木がCO₂を吸収し地球温暖化を防止する効果があるのは知られていますが、大気中の有毒ガスを吸収・吸着し空気を浄化する性質も。

特に杉はその機能が顕著であることが実験結果に出ています。

(参考資料⇒森林・林業学習館 HP)

奈良県にある正倉院は「世界の宝庫」とも呼ばれ、1300年もの時を経て、今も高い保存性で残っているのは、ヒノキの部材の校倉や、宝物本体が保存されている杉の箱(唐櫃カビツ)によるものと言われてい

ます。杉には調湿・調湿作用をはじめ、二酸化窒素濃度やホルムアルデヒド、オゾンなど宝物を劣化させるような物質を吸着してしまう機能があることが最近になってわかってきています。

杉は、昔から日本人にとって、なくてはならない存在でもあるのです。

山地に生え開花は3月~4月頃。ピンク色の花は下向きに咲き、雨の日や曇った寒い日は開花しにくい。

種子が地中に入ってから約8年目で開花となる。葉の枯れた5月頃から次の年の3月頃まで球根のまま休眠する。(1年のうち10カ月程度は地中で過ごす)

昔は球根から片栗粉を採っていたが、今はジャガイモやサツマイモの澱粉から作られています。

カクリから採れる本物の片栗粉は、消化がよく上質のため漢方薬として病後の滋養として使われていたようです。

東庄県民の森 野鳥広場 3月撮影



早春の花「かたくり」

害獣「モグラ(土竜)」



モグラは哺乳類で肉食動物。寿命は3年ほどと言われ、一生の大半を地中で過ごします。

視力はほとんどなく嗅覚・聴覚が発達していて音と臭いに敏感です。

餌は地中に生息するミズ・コガネの幼虫、ダンゴムなどを餌にしている、餌を探すため、1日に50m以上トンネルを掘るとも言われ、1分間で30cm程度のスピードでとにかく掘りまくるため、加里消費が激しく、1日に体重の半分もの餌を食べる大食いです。

何も食べない状態が12時間以上続くと簡単に餓死してしまうので、冬眠せず常に餌探しをして餌の保管庫にストックしています。

モグラの巣は地中30cmから1mあたりに部屋と通路があり、部屋だけでも「餌を獲る部屋」「餌を蓄える部屋」「侵入者から隠れる部屋」「休憩部屋」などがあり、それらの部屋をつなぐ通路はトンネルと呼ばれ、「頻繁に通る本道」と「滅多に使わない支道」に分けられています。

モグラ対策には、そのトンネルの本道を見つけておくことが大切です。

見つけ方として、モグラ塚(モグラが掘った土の山)を足で踏み固め埋めてみます。本道であれば修復する習性があるため、後日トンネルが元に戻っています。

- ※対策①刺激臭で撃退(忌避剤、木酢液、正露丸など)
- ②音や振動で警戒(ペットボトル風車、音波振動装置)
- ③罠で捕獲(注:絶滅危惧種や準絶滅危惧種の種もあり)

4~6月イベント

***5月14日(日)**
~ガーデンKOGA流~
「春の寄せ植え教室」
参加費 3,800円/人
15人

***5月7日(日)**
**「自然観察会&
自然素材のモノづくり」**
参加費 500円/人
10名程度

***4月23日(日)**
フリーマーケット出店者募集
参加費 500円/区画 10組

***4月23日(日)**
~春の~**「山野草展示会」**

山野草は全体として小柄ですが、花は美しく自然な姿がとても魅力的です。その個々の美しさを損なわず、お互いを引き立て合う山野草の寄せ植えは、園芸品種とはまた違った楚々とした雰囲気があります。その魅力、感じてみませんか...

***5月20日(土)**
「テニス教室-1」 20名
参加費 1,700円/大人
1,100円/中学以下
(保険・弁当・お茶含)

***6月11日(日)**
~キッズ体験~
「ジャガイモ掘り」 10組
参加費 800円/区画

***5月27日(土)**
~初心者のための~
「プチトレイルラン体験」
プチスイーツ付
参加費 700円/人 10人

***6月17日(土)**
~精神統一体験~
「座禅と写経」 15人
参加費 1,000円/人



東総山草会の作品